令和４年７月22日(金)発行

奈良県感染症情報

令和４年　第28週（ 7月11日～ 7月17日）
奈良県感染症情報センター（奈良県保健研究センター）
https://www.pref.nara.jp/27874.htm　TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 病原体(ウイルス)検出情報(６月)

❖定点把握感染症報告状況（定点当たり患者報告数の上位5疾患）❖

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	（前週）	増減			
1	RSウイルス感染症	4.03	(1.79)	↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	3.88	(5.12)	↘	↘	↘	↓
3	手足口病	0.56	(0.21)	↑↑	↑	↑↑	↑↑
4	咽頭結膜熱	0.38	(0.56)	↘	↘	→	↘
5	突発性発しん	0.32	(0.50)	↘	→	↘	↓

発生状況：大流行　流行　やや流行　少し流行　散発　（疾患毎に、基準値を定めています。）
増減：過去５週間平均数と比べたときの変化　↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

❖県内概況(新型コロナウイルス関係)❖

第28週の新型コロナウイルス新規感染者数は6507名と、第27週の2739名から急激に増加しています。県民の皆様には、引き続き基本的な感染対策の徹底を心がけていただくようお願いいたします。

❖県内概況（その他の感染症）❖

先週に引き続きRSウイルス感染症の報告が増加しており、特に中和保健所管内で多く報告されています。感染予防のため、日頃からこまめな手洗い、マスクの着用を心がけましょう。

✤小児科外来情報✤

北部地区（田中小児科医院）

RSウイルス感染症は依然多い、幼児例がほとんどあった。
アデノウイルス感染症は減少した。
COVID-19の陽性率が高い。2回接種済みの学生では、発熱期間は1日程度だが咳が強く出ていた。幼児例では発熱期間は1日がほとんどであった。

中部地区（岡本内科こどもクリニック）

発熱例、COVID-19陽性例が急増。前日に陰性で翌日陽性確認例もある。
家族全員発熱例も多い。症状は軽症経過。
（奈良県は、みなし陽性扱い不可のため、確定に近い濃厚接触者、自宅キット陽性例も医療機関で再検査必要の点、現行の体制では逼迫の懸念がある。）
その他、感染性腸炎が少し。

南部地区（南奈良総合医療センター小児科）

COVID-19 感染症が急増している。小児では初日の高熱での熱性けいれんがみられる。一部発熱遷延例もあり。
アデノウイルス咽頭炎の流行が続く。また手足口病が増加、発疹出現前に高熱あり、また発疹も上下肢・体幹・口内・口周囲と広範囲に出ている。

✤病原体（ウイルス）検出情報（令和４年６月）✤

ウイルス分離同定日での集計結果

検出病原体		北部	中部	南部	その他	臨床診断名
ヒトヘルペス	7		1			発疹症(1)

感染症発生動向調査において、新型コロナウイルス対応のため，医療機関より提供いただいた検体の検査が遅延しております。

❖定点把握感染症報告状況❖

令和　4　年　第 28 週　　7　月　11　日　～　17　日

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部
		奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野
インフルエンザ定点数	*55*	*14*	*14*	*11*	*10*	*6*
インフルエンザ	3 (0.05)		2 (0.14)	1 (0.09)		
小児科定点数	*34*	*9*	*9*	*7*	*6*	*3*
RSウイルス感染症	137 (4.03)	18 (2.00)	23 (2.56)	33 (4.71)	62 (10.33)	1 (0.33)
咽頭結膜熱	13 (0.38)	1 (0.11)	4 (0.44)	2 (0.29)	5 (0.83)	1 (0.33)
A群溶連菌咽頭炎	2 (0.06)		1 (0.11)		1 (0.17)	
感染性胃腸炎	132 (3.88)	25 (2.78)	32 (3.56)	16 (2.29)	57 (9.50)	2 (0.67)
水痘	3 (0.09)	2 (0.22)		1 (0.14)		
手足口病	19 (0.56)	2 (0.22)	1 (0.11)	9 (1.29)	2 (0.33)	5 (1.67)
伝染性紅斑						
突発性発しん	11 (0.32)	2 (0.22)	4 (0.44)	1 (0.14)	4 (0.67)	
ヘルパンギーナ	4 (0.12)			3 (0.43)	1 (0.17)	
流行性耳下腺炎	2 (0.06)	1 (0.11)	1 (0.11)			
眼科定点数	*10*	*3*	*3*	*2*	*2*	*0*
急性出血性結膜炎						
流行性角結膜炎	3 (0.30)			3 (1.50)		
基幹定点数	*6*	*1*	*2*	*1*	*1*	*1*
細菌性髄膜炎						
無菌性髄膜炎						
マイコプラズマ肺炎						
クラミジア肺炎						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)						

❖全数把握感染症報告状況❖　(　)は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(中和4、吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症3件(奈良市1、中和2)
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(中和1) 水痘(入院例)1件(中和1) 梅毒1件(奈良市1)

✤第 28週のトピックス✤

◆日本の輸入デング熱症例の動向について(国立感染症研究所HP)
https://www.niid.go.jp/niid/ja/dengue-imported.html

◆風しんの追加的対策について(厚生労働省HP)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、
旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段　:報告数
(下段):定点当たり報告数　報告数÷定点数

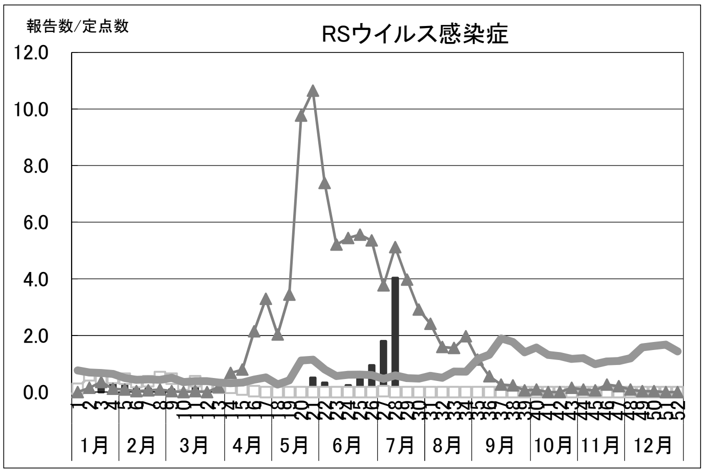
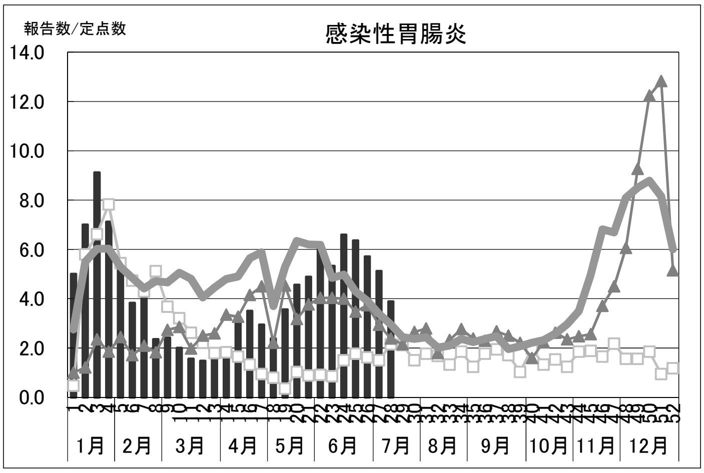
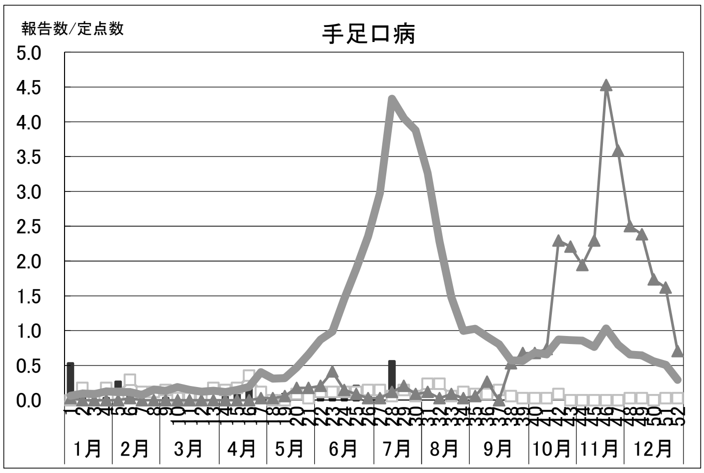
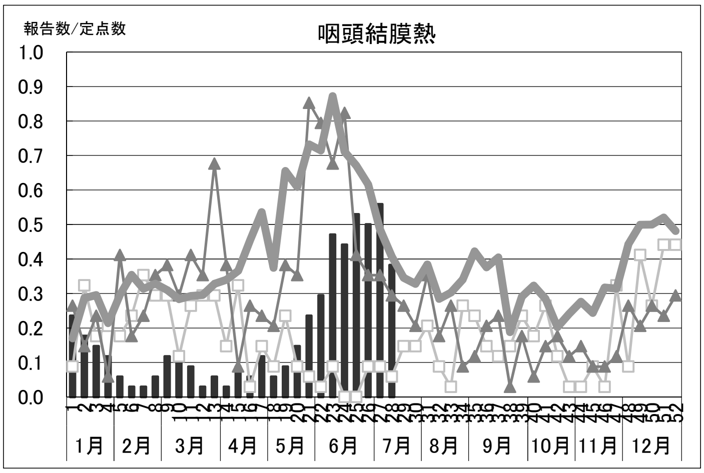
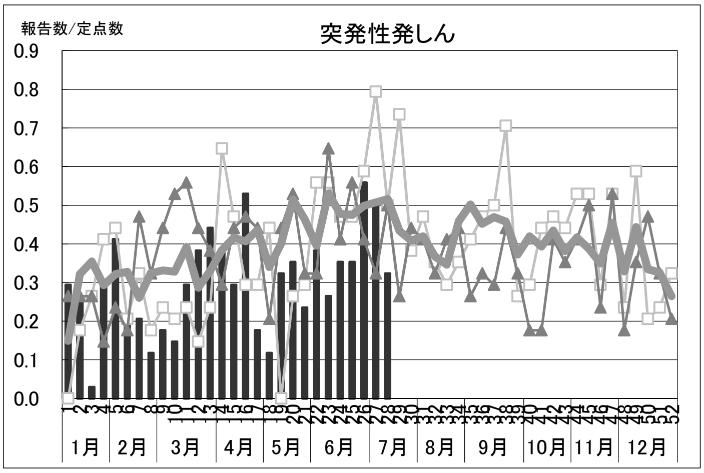
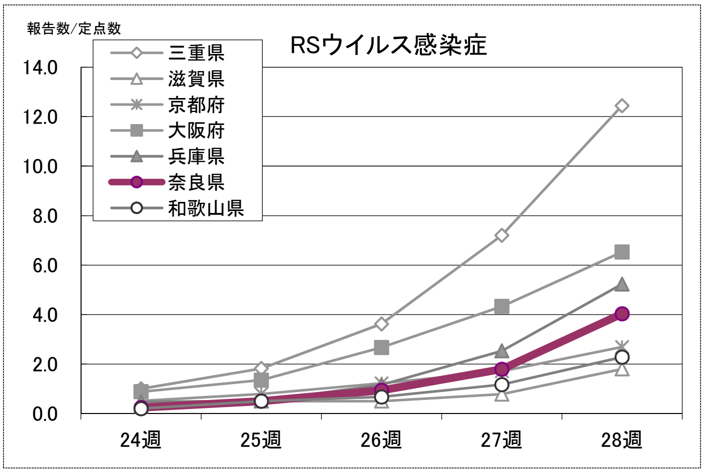
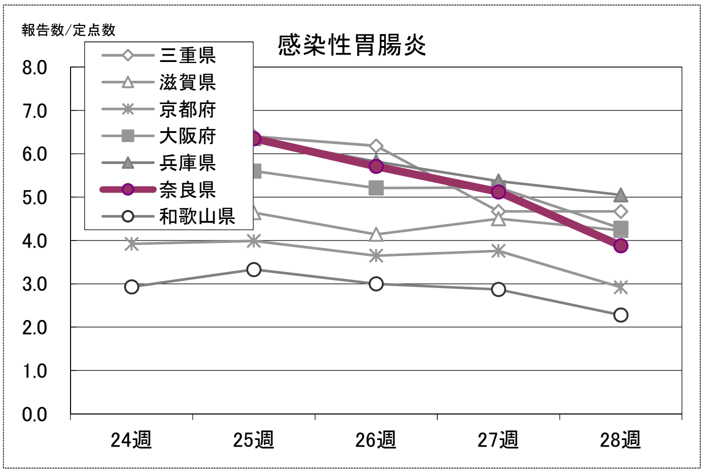
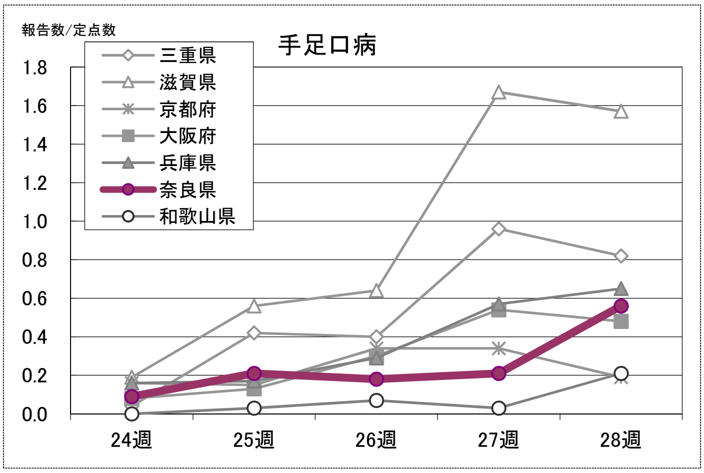
年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						
	女						1		1										1			3	4

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-	合計	累計
RSウイルス感染症	男	2	6	19	21	18	7	4								77	195
	女	3		20	14	11	8	2	2							60	156
咽頭結膜熱	男		1	2			1	1	1							6	108
	女		1	2	1	3										7	71
A群溶連菌咽頭炎	男						1									1	85
	女										1					1	62
感染性胃腸炎	男		6	20	12	11	9	4	3	1	4		3		2	75	2138
	女		5	9	11	4	3	5	3	2	2	2	4	1	6	57	1909
水痘	男												2			2	21
	女								1							1	29
手足口病	男			5	4	4		1							1	15	71
	女			1	1	2										4	47
伝染性紅斑	男																3
	女																
突発性発しん	男		2	2	1											5	160
	女		2	3	1											6	126
ヘルパンギーナ	男			1				2								3	19
	女				1											1	9
流行性耳下腺炎	男										1					1	11
	女									1						1	10

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計
急性出血性結膜炎	男																					
	女																					
流行性角結膜炎	男			1		2															3	39
	女																					12

年齢区分	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計
細菌性髄膜炎	男																		
	女																		
無菌性髄膜炎	男																		2
	女																		
マイコプラズマ肺炎	男																		1
	女																		
クラミジア肺炎	男																		
	女																		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	男																		
	女																		

❖注目疾患の動向❖全て定点当たり報告数

R4　R3　R2　過去10年平均